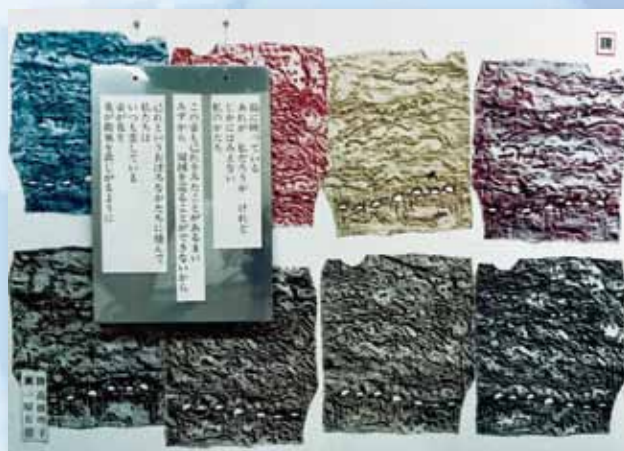


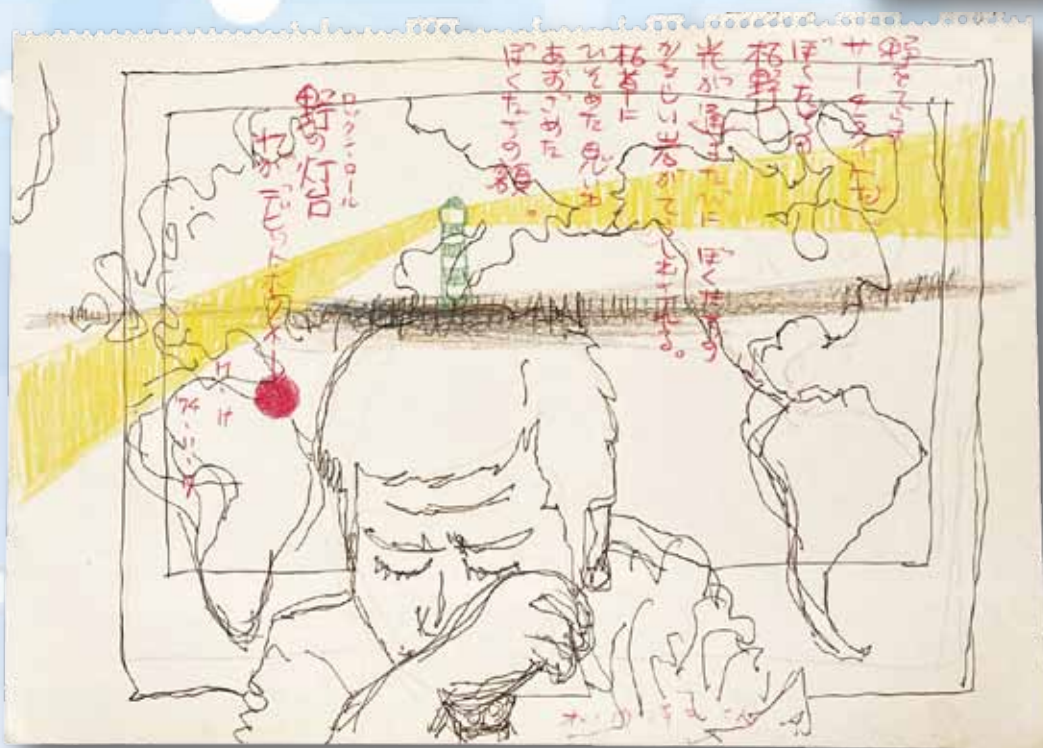
1963(昭和38)年9月25日午後6時、小樽詩話会発足のための話し合いが、小樽市稲穂町の喫茶店『街』三階で行われました。

〈文学について自由に話し合える会が欲しい〉〈創作と対話によって、日々の生をより豊かなものにしたい〉〈主宰者はいない、その時々世話人がいればよい〉。その想いが、小樽詩話会の原点でした。

その日から60年。小樽詩話会は、往年の自由な気風をそのままに、今も新たなあゆみを続けています。会の誕生から今日に至るまでの軌跡を会誌バックナンバーや数々の詩画、懐かしの写真でご紹介します！



1972(昭和47)年詩画展より 詩・高橋明子 画・一原有徳



心ゆくまでおしゃべりして、酔って……そんな時にこそ、心の奥に秘めた詩心は、花開くのかも知れません。  
1974(昭和49)年11月7日、飲み会の落書きスケッチブックより。 詩と画・萩原真。



1977(昭和52)年仮面展 構想スケッチブックより 画・小田節子



1980年代まではレクリエーションも盛んでした。お正月には子供たちも交えての百人一首大会。海水浴やハイキングもありました。

## イベントのご案内

### 小樽詩話会トークショー

ゲスト:高橋 明子(詩人)

ナビゲーター:根深 昌博(小樽詩話会 世話人)

詩話会初期から現在にいたるまでの会員で詩人として活躍されている高橋明子さんから会の懐かしのお話や近年のご活動をうかがいます！

2023年7月16日(日) 午後2時～3時30分  
市立小樽文学館1階研修室 参加費・無料  
\*お電話にて要予約 先着50名



毎月2回の例会のあと、皆が楽しみにしていたのは二次会。初期メンバーの顔ぶれがずらずら。談論風発のひとときでした。

## 市立小樽文学館

〒047-0031  
小樽市色内1-9-5(金融資料館/日本銀行旧小樽支店向かい)  
TEL&FAX (0134) 32-2388



Twitter

市立小樽文学館	〒047-0031	小樽市色内1-9-5
TEL&FAX	(0134) 32-2388	
市立小樽文学館	〒047-0031	小樽市色内1-9-5
TEL&FAX	(0134) 32-2388	